

| 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組んでいきたい項目) | 取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む) |
|--|---|-------------------|--------------------------------------|
| .理念に基づく運営 1. 理念の共有 | | | |
| 1 地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らしていくことを支えていくサービスとして、事業所独自の理念を作り上げている。 | 理念に基づき地域とのかかわりを持ちながら利用者さんの暮らしを大切に支援している | | 地域の文化活動、ボランティアの方の訪問を増やしていきたい |
| 2 理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる。 | 日々の業務やミーティングで理念の実現が達成されているか、反省して取り組んでいる | | |
| 3 家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる。 | パンフレットに記載して、家族、地域の方々の目に触れるよう努めています | | 立ち上げ一年経ち、もっと具体的な理念を話し合いたいと考えています |
| 2. 地域との支えあい | | | |
| 4 隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている。 | 毎日散歩で近所の方々と触れさせてもらい、挨拶したり、お茶飲みにお誘いして来ていただいています | | |
| 5 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一人として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。 | お祭り、学校行事、地域活動で参加可能なものであれば積極的に参加しています | | |
| 6 事業者の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。 | 高齢者の暮らしに役立つまでいたってませんが、地域の方にも来ていただき、ふれあい祭りで手打ちそば、菓子を食べてもらったりしました | | 毎年恒例として、地域の高齢者に来ていただけるような会を取り組みたいと思う |

| 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組んでいきたい項目) | 取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む) |
|-----------------------|--|--|-------------------------------|
| 3. 理念を実践するための制度の理解と活用 | | | |
| 7 | <p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。</p> | 自己評価について話し合い、日々を反省して職員の意識向上に活かしています、外部評価にも施設の向上のため初めて取り組んでいる | |
| 8 | <p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。</p> | 実施していない | これから取り組んで施設の向上をはかりたい |
| 9 | <p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる。</p> | 町の指導の下、適正なサービスを提供し連携を行っている | |
| 10 | <p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している。</p> | 権利擁護に関しては、プリントなどで目を通し学んでいる | 成年後見制度について今後学習していくよう努めたい |
| 11 | <p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがない要注意を払い、防止に努めている。</p> | 資料による学習、話し合いで虐待防止について学び、虐待が起こる事がないよう注意している | |
| 4. 理念を実践するための体制 | | | |
| 12 | <p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p> | 利用者、ご家族のニーズを把握した上で当事業所の説明を十分に行い、納得の上で入所を決めてもらっている | |

| 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組んで きたい項目) | 取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む) |
|---|---|----------------------|-------------------------------|
| 13 運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。 | 意見、苦情があれば直接の窓口や公的機関への連絡方法を入居時に説明している | | |
| 14 家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている。 | 月初めに1ヵ月の金銭出納帳と食事献立を直接渡し、面会を兼ねて施設に来てもらい、利用者のお様子を見てもらっている | | |
| 15 運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情等を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。 | 苦情があれば職員、管理者に周知して改善していくよう取り組んでいる | | |
| 16 運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。 | できるだけ、職員の意見が反映されるよう、投書や意見書などを利用し、工夫している | | |
| 17 柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保する為の話し合いや勤務の調整に努めている。 | 要望があれば柔軟な対応ができるよう調整している | | |
| 18 職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている。 | 職員の離職は必要最小限に抑える努力をしている | | |

| 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組んでいきたい項目) | 取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む) |
|---------------------------|---|--|-------------------------------|
| 5. 人材の育成と支援 | | | |
| 19 | <p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p> | <p>研修の周知を職員に常時行い、勤務調整や、交通費など経費で出し、参加しやすいように取り組んでいる</p> | |
| 20 | <p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。</p> | <p>グループホーム協議会に加入し、交流会、勉強会にはできる限り参加して、交流の機会を育てていきたいと考えている</p> | |
| 21 | <p>職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる。</p> | <p>毎月のミーティングで、問題があればその都度話し合う機会を作り職員のストレスの軽減に努めている</p> | |
| 22 | <p>向上心をもって働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心をもって働けるように努めている。</p> | <p>人事考課を取り入れ向上心を常時持ち続けていこうにしたいと考えており、その重要性の話し合いをしている</p> | |
| . 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | |
| 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 | | | |
| 23 | <p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。</p> | <p>関わりに時間を多くもつようにして、困っていること、不安なこと、求めていることなど傾聴することから安心感を持っていただけるよう努めている</p> | |
| 24 | <p>初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。</p> | <p>入居の際の面会時に、困っていること、不安なこと、求めていることを受け止める努力をしている</p> | |

| 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組んでいきたい項目) | 取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む) |
|--|--|-------------------|-------------------------------|
| 25 初期対応の見極めと支援 相談を受けたときに、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。 | 本人と家族の相談を率直に受け止め、その最善の支援ができるよう努め、また、利用者の状況に応じたサービスを紹介するよう努めている | | |
| 26 馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している。 | 入居前に何度も見学に来ていただき、他の利用者さんと家族も含めてお茶を飲んだり交流してもらい、馴染まれるよう努めている | | |
| 2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 | | | |
| 27 本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている。 | 利用者の残存能力を生かし、家事面で、談話の中で、生き生きと生活していただき、職員は尊重心を持って互いに支え合える関係を築けるよう配慮している | | |
| 28 本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている。 | 面会等、報告や相談の際にコミュニケーションの重要性を意識して、職員を家族がともに利用者を支えていける関係作りに最善を心がけている | | |
| 29 本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、よりよい関係が築いていけるように支援している。 | 家族の方々との連携も、より深く親密になることに努め、面会時にも多くのかかわりを持っていただけるよう努めている | | |
| 30 馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。 | 電話や面会などいつでも快く対応している | | |

| 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組んでいきたい項目) | 取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む) |
|---|---|-------------------|-------------------------------|
| 31 利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている。 | 食事、おやつ、体操の時間は皆さんに声かけしてかわり合っています | | |
| 32 関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている。 | 継続したお付き合いができるよう努めている | | |
| . その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント 1. 一人ひとりの把握 | | | |
| 33 思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。 | 日々、利用者さんの一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努め、それぞれにあったケアを行っている、困難な際にも、本人本位に耳を傾けながら状態を見て、家族の相談も受けながら利用者の意向に合うように努めている | | |
| 34 これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。 | 生活歴、なじみの暮らし方、生活環境など利用者皆さんそれぞれを尊敬しさをさえていくために、情報を把握し満足していただけるよう努めている | | |
| 35 暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている。 | 一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状について、日々察知し、情報の交換に努め、様々な危険に陥ることのないよう努めている | | |
| 2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し | | | |
| 36 チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している。 | 専門員のもとに、本人、家族、関係者との話し合い、意見、アイデアを反映した介護計画が作成できるよう努めている | | |

| 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組んでいきたい項目) | 取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む) |
|---|--|-------------------|---|
| 37 現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。 | 見直し期限を設け、利用者の状態変化に合った対応ができていないか常日頃から介護計画を意識し、見直しできるよう努めている | | |
| 38 個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。 | 毎日の最良のケアは、スタッフ間の利用者の日々の変化の気づきと情報伝達が大切と考えており、そのため個別記録はとても重要で忙しいあいまにも記入するよう努めている | | |
| 3. 多機能性を活かした柔軟な支援 | | | |
| 39 事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている。 | 実施していない | | 当事業所のできる事を検討していきたい |
| 4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 | | | |
| 40 地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している。 | 防災訓練には消防機関に協力、指導していただいている、ボランティアにも何度か来訪いただきお手伝いをお願いしている | | 恒例として、ボランティア、文化機関の方と交流していただけるよう行事に取り組んでいきたい |
| 41 他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用する為の支援をしている。 | 実施していない | | 本人の意向、必要性があればできる限り支援していきたい |
| 42 地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している。 | 地域包括支援センターには、相談に乗ってもらい、ご意見をいただいたり、指導していただいている | | |

| 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組んでいきたい項目) | 取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む) |
|--|--|-------------------|---|
| 43 かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。 | 利用者、ご家族の希望や意向を大切に、納得のいく、適切な医療を受けられるよう支援している、2週間ごとの受診で最新の医療を受けている | | |
| 44 認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している。 | 実施していない | | 今後、認知症について見識の深い医師との協力関係を築いていきたい |
| 45 看護職との協働 利用者をよく知る看護職あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。 | 実施していない | | 今後、提携医院と相談し、実施していきたい |
| 46 早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している。 | 入院した際は、ご家族と共に病院と情報交換し、できるだけ協力するよう努めている | | |
| 47 重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している。 | 重度化、終末期のあり方は、早期に家族への相談、かかりつけ医への受診で対応する | | |
| 48 重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている。 | 実施していない | | 終末ケアについて学習を進め、ご家族の要望に、満足のいく答えができるよう取組んでいきたい |

| 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組んでいきたい項目) | 取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む) |
|--|--|-------------------|-------------------------------|
| 49 住替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居宅へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住替えによるダメージを防ぐことに努めている。 | 情報交換には最善の努力を尽くし、住み替えによるダメージを防ぐよう努めている | | |
| . その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 1. その人らしい暮らしの支援 (1) 一人ひとりの尊重 | | | |
| 50 プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取扱いをしていない。 | 利用者への言葉かけや対応には、常日頃、反省し気をつけていく努力をスタッフに心がけさせている。記録などの個人情報の取り扱いにも本人の意思にそぐわないかたちで外部に漏れる事のないよう努めている | | |
| 51 利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている。 | 自己決定を大切にする言葉かけ、利用者につながる説明を大切にして、納得した暮らしができるように支援している | | |
| 52 日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。 | 利用者との関わりを大切に、一人ひとりのペースに合わせ、スタッフはできる限りゆったりと関わるように対応している | | |
| (2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 | | | |
| 53 身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている。 | TPOにあわせた、その人らしい身だしなみ、おしゃれができるよう支援し、理容、美容は本人の望まれるようにできるよう努めている | | |
| 54 食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員がその人に合わせて、一緒に準備や食事、片付けをしている。 | 月に1、2度の行事食を調理師に依頼し、健康面だけでなく、見た目の楽しい食事ができるよう努めている。普段の食事では、利用者の好み順番になるよう、献立表をみて考慮している、片づけを時々、一緒に手伝ってもらっている | | |

| 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組んでいきたい項目) | 取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む) |
|---|---|-------------------|-------------------------------|
| 55 本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、タバコ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している。 | 嗜好については、本人の健康を害さないように注意を払って楽しめるよう支援している | | |
| 56 気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している。 | 自尊心を傷つけないよう、排泄や声かけ、必要に応じては紙パンツ等を使用して快適な排泄の支援ができるよう努めている | | |
| 57 入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している。 | 利用者の健康状態、本人の希望に合わせて入浴を楽しんでいただいている | | |
| 58 安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している。 | 一人ひとりの生活習慣や、その日の状況に応じた過ごし方に配慮し、安心して休息をとれるよう努めている | | |
| (3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 | | | |
| 59 役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている。 | 利用者の趣味、特技を配慮した楽しい日々が過ごせるよう支援している、ほぼ毎日の10分体操や、ボール運動、カラオケなどで気晴らしの支援をしている | | |
| 60 お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。 | おこづかいとして、利用者全員が買い物時に好きなものを買うことができるよう、個人別の帳簿を作り預かっている、利用者にお金の意識を持っていただけるよう支援している | | |

| 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組んでいきたい項目) | 取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む) |
|--|---|-------------------|-------------------------------|
| 61 日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している。 | 利用者の希望に応じて、買い物、散歩等の外出の支援をしている | | |
| 62 普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している。 | 外出行事など、利用者の希望を取り入れながら状態にあわせた機会を作り支援を行っている | | |
| 63 電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している。 | 希望に応じて、電話、手紙のやり取りができるよう支援している | | |
| 64 家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している。 | 訪問していただいた際は、個室だけではなく、共有スペースでお茶や菓子などをお出しし、他の利用者とも交流がもてるよう努めている | | |
| (4) 安心と安全を支える支援 | | | |
| 65 身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。 | 高齢者虐待対応支援マニュアル等のテキストを利用し、スタッフ間の学習を高め、防止に注意を払うよう努めている | | |
| 66 鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる。 | 鍵をかける事は極力避け、外出を要望した場合は必ずスタッフが同行して、何度でも応じている、玄関やベランダの戸が開くと音が鳴り、すぐに気づけるようしている | | |

| 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組んでいきたい項目) | 取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む) |
|--|--|-------------------|-------------------------------|
| 67 利用者の安全確認 職員は、プライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している。 | 周囲を意識した声かけで、利用者の安全に配慮している | | |
| 68 注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている。 | 利用者に応じて注意が必要なものは事務所で預かりスタッフが管理している | | |
| 69 事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐ為の知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる。 | 常に利用者の安全確認を把握する事に努めている、避難訓練等で事故防止に取り組んでいる | | |
| 70 急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている。 | 消防署の協力を得て、年1回人工呼吸、心肺蘇生の訓練、学習を行っている | | |
| 71 災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている。 | 消防署の協力を得て、年2回の避難訓練を行っている | | 次回は夜間の避難訓練を予定している |
| 72 リスク対応に関する家族との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている。 | 起こりうるリスクを未然に防げるようにスタッフや家族と相談し、最小の対応ですむように努めている | | |
| (5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 | | | |

| 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組んでいきたい項目) | 取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む) |
|--|--|-------------------|-------------------------------|
| 73 体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気づいた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている。 | 細心の注意で早期発見に努め、スタッフの情報交換の大切さを心得ている | | |
| 74 服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。 | 常に正しい情報を得れるよう、服薬資料のファイルを作成している、利用者の症状の変化を把握し、誤薬のないよう努めている | | |
| 75 便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけに取り組んでいる。 | 排泄管理表により、個々の排泄パターンを把握している、食品や水分補給、運動、処方されている薬などを総合的に取り入れ、予防、対応している | | |
| 76 口腔内の清潔保持 口の中の汚れやおいが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている。 | 食後の口腔洗浄には、声かけて個々の力に応じた口腔ケアで清潔保持に配慮している | | |
| 77 栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。 | 食事、水分摂取のチェック表により、利用者の栄養や水分が確保されているか配慮し、不足時には補食している | | |
| 78 感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等) | マニュアルを作り周知している | | |

| 項目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | 印 (取組んでいきたい項目) | 取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む) |
|-------------------------|--|---|-------------------|-------------------------------|
| 79 | <p>食材の管理</p> <p>食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている。</p> | <p>台所、調理器具、布巾等は洗浄、殺菌に心がけ、食材も鮮度に留意して、賞味期限に注意し調理している</p> | | |
| 2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり | | | | |
| (1) 居心地のよい環境づくり | | | | |
| 80 | <p>安心して出入りできる玄関まわりの工夫</p> <p>利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている。</p> | <p>玄関先の庭には花壇を設け、また建物南側は全面ガラス張りとなっており、出入りしやすい環境に配慮している</p> | | |
| 81 | <p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p> | <p>季節感を取り入れて花、飾り物を工夫している、楽しみながら居心地の良い共有空間づくりを実施している</p> | | |
| 82 | <p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中には、一人になれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p> | <p>施設内の各所にくつろげる場を設け、利用者それぞれが落ち着ける居場所づくりに配慮している</p> | | |
| 83 | <p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使いなれたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p> | <p>使い慣れた家具、思い出の品、仏壇を持ち込んでもらい、利用者が落ち着いて居心地よく過ごしていただけるよう家族と相談している</p> | | |
| 84 | <p>換気・空調の配慮</p> <p>気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないように配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている。</p> | <p>換気は清掃時だけでなく、頻繁に行うようにしている、温度調節についても利用者の状況に応じ対応している</p> | | |
| (2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり | | | | |

| 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容 ・ 実施していない内容) | 印 (取組んでいきたい項目) | 取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む) |
|--|---|-------------------|-------------------------------|
| <p>85 身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p> | <p>徹底したバリアフリー、十分な手すりの設置等、工夫している</p> | | |
| <p>86 わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している。</p> | <p>利用者の居室には、わかりやすい目印をつけ自ら戻れるよう配慮している、トイレの表示にも配慮している</p> | | |
| <p>87 建物の外回りや空間の活用 建物の外回りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている。</p> | <p>広い外回り、テラスには十分に楽しんでいただいている、草取りなどはりきって活動してもらっている</p> | | |

| サービスの成果に関する項目 | |
|---------------|---|
| 項目 | 取り組みの成果 |
| 88 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる ほぼ全ての利用者 利用者の2/3くらい 利用者の1/3くらい ほとんど掴んでいない |
| 89 | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある 毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない |
| 90 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている ほぼ全ての利用者 利用者の2/3くらい 利用者の1/3くらい ほとんどいない |
| 91 | 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿が見られている ほぼ全ての利用者 利用者の2/3くらい 利用者の1/3くらい ほとんどいない |
| 92 | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている ほぼ全ての利用者 利用者の2/3くらい 利用者の1/3くらい ほとんどいない |
| 93 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている ほぼ全ての利用者 利用者の2/3くらい 利用者の1/3くらい ほとんどいない |
| 94 | 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている ほぼ全ての利用者 利用者の2/3くらい 利用者の1/3くらい ほとんどいない |
| 95 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています ほぼ全ての家族 家族の2/3くらい 家族の1/3くらい ほとんどできていない |

| サービスの成果に関する項目 | |
|---------------|---|
| 項目 | 取り組みの成果 |
| 96 | <p>通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている</p> <p>ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどない</p> |
| 97 | <p>運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている。</p> <p>大いに増えている 少しずつ増えている あまり増えていない 全くいない</p> |
| 98 | <p>職員は、生き生きと働いている</p> <p>ほぼ全ての職員が 職員の2/3くらいが 職員の1/3くらいが ほとんどいない</p> |
| 99 | <p>職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う</p> <p>ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない</p> |
| 100 | <p>職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う</p> <p>ほぼ全ての家族等が 家族等の2/3くらいが 家族等の1/3くらいが ほとんどいない</p> |

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(日々の実践の中で事業所として力を入れて取り組んでいる点・アピールしたい点等を自由記載)

毎日、利用者さんお一人お一人とのちょっとした会話を大切に、状態や、やりたいこと等の要望を把握して平穏で満足した生活を送っていただけるよう努力している所存です。